

投信フォーラム2010 in 高崎

～資産運用は時間を味方につけましょう～



おぎわら・けんじ 1969年、草津町生まれ。4大会連続冬季五輪出場。92年、94年の冬季五輪団体で金メダル獲得。競技スキーの若手育成に取り組み一方、「Start! Somethingプロジェクト」と称し、スポーツや遊びを通じて環境への意識向上を目指す活動を展開している

特別講演

私のスキー人生

荻原 健司氏

冬季五輪金メダリスト
北野建設スキー部長



いすみ・あきこ 横浜国立大学卒業。出版社、放送局を経てフリーキャスターに転身。NHKを中心にニュース・情報番組を担当。1999年、C-FP(ファイナンシャルプランナー)上級資格を取得。メディア出演や講演活動などを通じて、マネー&キャリアの情報を発信している

よく「投資はしなくてはならない」という質問を受けます。若い人は「ぜひした方がいい」というのが私の答えです。年配の方は、より豊かな生活をするには投資をした方がいいでしょう。

リスクをチャンスに

超低金利が続く中、投資信託への関心が高まっている。将来に備えた資産運用の必要性や投資信託のしくみ、メリットなどを紹介する「投信フォーラム2010 in 高崎」が高崎市間屋町のピエント高崎で開かれた。ファイナンシャル・プランナー(FP)の和泉昭子さんが投資信託の上手な活用方法を解説。草津町出身の冬季五輪金メダリスト、荻原健司さんの特別講演も行われ、約200人が熱心に耳を傾けた。

FPによる投資信託セミナー

皆さんのギモンに答えます！
～投資信託との上手な付き合い方～

和泉 昭子氏

生活経済ジャーナリスト
ファイナンシャル・プランナー

力給などが導入され、中高年で収入が減り、退職金も減っています。それなのに、子供の進学や住宅ローンが残っているという状況だったりするわけです。年金支給開始の年齢が引き上げられ、昇給の頭打ち、収入ダウンの状況では、若干のリスクがあるのでは、運用信託を必要とするのではないでしょうか。リスクと言ってもさまざまです。

将来に備え豊かな生活を

投資信託の魅力は、プロのノウハウを利用できることです。それが効果的で、一番早く価値が上がるか、情報を持っていきます。プロを使うには当然、手数料が掛かります。投資する際は銘柄ではなく、国内株、国内債券、外国株、外国債券といった大きなカテゴリーで考えた方がいいですね。株価の方が値動きは大きく、外国株は特に大きい。債券は大きく増えなければ、減りもしない。リスクを抑えるため、分散投資するというのが投信の考え方です。

資産をある程度守りながら分散させてコントロールしていくのに便利なのが投資信託です。投資は投資家から、販売会社がお金を集め、運用会社が運用の指図をして運用し、信託会社が管理しています。運用先を国内株、国内債券、外国株、外国債券などに分散配分する割合によってさまざまな商品が作られています。何にどのくらい投資するか、中身をよく聞いて買うことが大切です。何があると価値が上がったり、何があると損をするのかよく調べてお付き合いすると良いですよ。

プロのノウハウ利用

元本割れや金融機関の破綻だけではありません。日本は3ヶ月デフレが見込まれていますが、物価が上がるとインフレリスクもあります。消費税が上がったり、中国インドルのような新興国が発展して資源をたくさん使うようになると、食料や原油が足りなくなることも考えられます。どんなものにもリスクがあり、人生はリスクだらけ。それをチャンスに変えていくか、ではないでしょうか。

3つの手数料を確認
投信の手数料にも注意が必要です。購入時、販売手数料は気になりませんが、運用中の信託報酬は気付かないものです。どのくらいの期間、投資信託を持つかによって手数料は変わってきます。必ず信託報酬率を見てください。換金時は、解約後の運用の安定性を保つための手数料として信託財産留保額も掛かります。3つの手数料をしっかり見てください。定期的に分配金が出るファンドも準備しているところがあります。

プロが運用しているとは言え、必ずしも成績がいいとは限りません。市場平均より上の運用成果を目指すアクティブファンドは、運用者のうまい、下手が出てきます。出たてのファンドは買わずに、過去の実績をよく調べてみましょう。

お勧めしたいのはドルコスト法による積立投資です。安いとき、たくさん買って高いとき、少く買って、平均的な価格で買えます。金融機関に勧められるままに買って大損したという相談を受けます。なぜ自分が買ったのか、新興国の株なら成長が止まったのか、状況をよく見てほしいですね。世界中がネットつながり、地球の反対で起こったことでもあり受け取るようになったことでもあり戻ることがあります。比較的早く戻ることがあります。「100万円あったら和泉さんなら何に投資しますか」と聞かれます。私は先進国の株、債券とも持っている。新興国の積立投資もしています。新興国は特異見通しを見て、右肩上がりではない高い。私は中長期で投資しようと思っています。力強い成長に期待して積み立てし、老後に備えているところがあります。

■父の言葉でスイッチ
幼少期の指導は厳しくない方がいいですね。面白い、楽しい時間を持たせてやる。「これをしている時間が大好きだ」という気持ちが持てれば、成長してからも、途中でくじけない選手になるでしょう。

「挑戦」が自分を变える

「と相談したところ、そんなことは簡単だ。お前はスキーが好きだろう。オリンピックで金メダルを取ればいい」と返ってきた。私の中でスイッチが入った瞬間でした。日常の親子の会話ほど、大事なものはなにもありません。子供がどんな目標を持っているかを知り、一緒になつて応援してほしいですね。両親

の支えなしに、私のスキー人生は語れません。
■ジャンプを改革
高校2年で、初めてジュニアの国際大会に出場しました。自信はあったのですが、成績はビリから2番。同じ年代で、この差は何だろうと考えました。海外の選手は競技前から目つき、顔つきが違うのです。情熱を持ってやろう、世界に通用する選手になろうと決めました。結果を出すには時間が必要でした。日本代表に何度も選ばれながら、満足な成績が残せず、大学4年のとき「卒業したらスキーの選手をやめよう」と決心しました。やめる前に最後に賭けてみようと思いました。それが、ジャンプの改革でした。私はジャンプが下手でした。クロスカントリーは自信があったので、やるべきことはジャンプしかない。日本でもまだ、だれも取り組んでいなかった「V字ジャンプ」に挑戦したのです。
■ソチに向け若手育成
何もなければ、今の私はありません。ジャンプに自己投資し、金メダルに輝くことができた。金メダルを取った。山積みになるほどの手紙をいただき、私自身が励まされました。金メダルを取ったことがゴールではなく、さらに大きな目標ができてしまったのです。今の日本の競技スキーは残念ながら、良い結果を出せていません。2014年のロシア・ソチでの冬季五輪に向けて、若手の育成に取り組みたいと思います。

企画・制作/上毛新聞社東京支社

資産運用は、時間を味方につけましょう。

投資信託協会

リスクを小さくするための方法、知っていますか？
「資産の分散」「長期の保有」そして「時間の分散」です。

値動きのある投資信託は、時間を味方につけて、
少しずつつけて購入することでリスクを分散。
資産運用、考えてみませんか。

詳しくは投資信託協会のホームページ、ガイドブックをご覧ください。

投資信託を知りたい方に

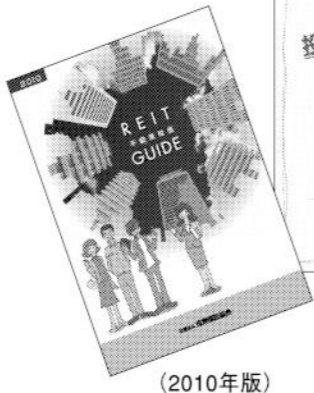
無料ガイドブックプレゼント

(各1冊セット)

ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。(お届けは2週間前後となります。)

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1 東京証券取引所ビル6階(社)投資信託協会 J係

※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。



携帯電話はこちら



投資信託協会では各種講演会やセミナーを開催しています。詳しくはホームページのセミナー情報をご覧ください。

投資信託協会

検索

www.toushin.or.jp